

理学研究科長 様

博士論文予備審査報告書

標題は18ポイント、センターリング

申請者氏名：

専攻： 専攻

論文題目：The title of the thesis

「 」

- ・本論文の題目を記入する。
- ・英文題目は先頭だけが大文字。その他は略号を除いて原則として小文字。また、ピリオドをつけない。
- ・題目が英文の場合は和訳を列記し、和訳にだけ「」をつける。

審査結果： 「可」、「不可」または「その他」と書く。「」はつけない。

所見： 改行する。

.....

.....

.....、博士論文として審査を進めることが適当であると結論した。

インデント設定する。

所見の内容は論文概要、審査結果に至る経緯、その理由などを概ね400字程度（以内）で書く。

また、「.....、博士論文として審査を進めることが適当であると結論した。」を締め括りとする。

【全体をとおしての注意事項】

- ・上下左右の余白は各20mmとする。
- ・標題以外はすべて12ポイントとする。

200 年 月 日

予備審査が行われた日付を西暦で書く。

主査：

印

副査：

印

：

印

：

印

：

印

本審査で外部委員の方を依頼している場合、予備審査の段階では

外部委員の方には押印（承認）までは求めません。その場合（押印のない場合）、

上には外部委員の氏名は記載不要ですが、下の本審査委員のところには

外部委員の氏名、所属等を書いてください。

・外部委員は副査を担当する教授の最後に書く。

・外部委員の所属等は（）書きで名前の右横に書く。（長くなる場合は名前の下に書いてもよい。）

・教授3名以上・外部委員の他に、准教授が副査を担当する場合は、

外部委員の下に書く。

本審査委員

主査：

副査：

：

：

：

（北東大学大学院理学研究科、教授）